

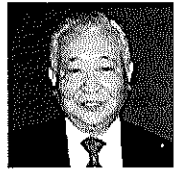


白門板橋

2009. 9. 15 VOL.32

編集
発行

中央大学学員会 東京板橋区支部
〒175-0082 板橋区高島平2-23-3-101 TEL03-3550-3300



■総会の「あいさつ」

本年度の支部運営と課題

支部長 石塚 輝雄

* * *

本日の定時総会に、六〇名を超す支部会員の皆様にご出席いただき、誠に有難うございます。またお忙しいなか、大学並びに学員会本部からも、ご来賓のご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。

まず、平成二一年度の支部運営と課題につきまして、会員諸兄弟のご協力を仰ぎたいと存じます。即ち「会員増強」と「板橋区支部の活性化」についてであります。板橋区が毎年実施する「区民まつり」に参加し、板橋区支部の職を留意すると共に、入会希望者に会報「白門板橋」を配布することとしました。これは、支部創立以来の新規事業であります。さらに今回の総会から、平成の女子卒業生が入会したことも、幸先のいいニュースであります。また中央大学一二五周年記念事業に、支部として一〇万円の寄付をすることになりましたことを申し添えます。

次に五月一日、駿河台記念館で開催された学員会全国支部長会に出席しました折の、永井和之総長・学長並びに久野修慈理事長のご挨拶を、皆様にもお伝えしたいと思います。

「中央大学の伝統の一つが『実学』である。私たちが目指す実学は、社会に何らかの作用や効果をもたらす実学である」(永井学長)

「中央大学が持つ質実剛健の精神は、教育の原点である。一方、これからの世の中は国際化の時代である。……国際的に高く評価される総合大学に成長しなければならぬ」(久野理事長)

それでは、会員の皆様のご健勝と、支部の益々の発展を願って挨拶いたします。(総会当日の支部長挨拶を要約したものです)

支部のニュース

■六一名が参加して定時総会

板橋区支部の第二一回定時総会は、六月二〇日(土)午後六時から、区立文化会館四階の大会議室で開催され、六一名が参加しました。

田中喜八、瀬戸一成、岩澤忠弘、武内崇義、森弘、原田幸雄ら六氏の物故会員に黙祷を捧げたあと、総会に入りました。

司会はいつものように池田幹事長。挨拶に引き続き石塚支部長が議長を務めて、全五案が承認可決されました。

また春の叙勲で、会員の仲光義継さん(昭和四四年法卒)が、永年、税務行政に尽力された功績により、瑞宝小綬章を受章されました。支部からはお祝い品をお贈りし、仲光氏からお礼のご挨拶を頂戴しました。

全員で記念撮影を済ませてから、大野事務局長の司会により、第二部の懇親会に移りました。

大学から玉造竹彦常任理事、学員会本部から長田繁顧問、秩父和行事務局長が来賓としてご臨席く

ださり、祝辞と合わせて、大学の現状と学員会の事業活動についての、ご報告がありました。

祝電の披露につづいて、長田顧問の乾杯で祝宴に入りました。新入会員と総会初参加の会員の自己紹介があつてから、カラオケ同好会佐藤会長の司会進行で、ノド自慢の面々の登場となりました。

宴たけなわとなり、名残りを惜しみながら、中三川常任幹事のリードで、校歌、応援歌、「惜別の歌」を、輪になって斉唱し、小日向顧問の中締め挨拶で、散会となりました。(池田記)

■上練馬公園から笹寿司へ

四月四日(土)、支部恒例の観桜会が開催されました。花見は区境をちよつと越えた「上練馬公園」で簡単に済ませ、板橋区に戻って笹寿司へ。ここは幹事の猪橋ブロッコ長(赤塚)行きつけのお店。

二階宴会場には三八名の会員が集い、佳肴、美酒に酔いしれ、カラオケも存分に唄いまくつて、時の経つのを忘れていました。

初参加の大島香織さん(平成一〇年経卒)という、名花一輪が加



▲平成10年卒の新入会員にとまどい勝ちの大先輩方

わつたせいもあつてか、会場の熱気は止まるところを知らないようでした。(金子記)

■祝・当選！菅 東一都議

七月二日(日)に投票された東京都議会議員選挙において、菅東一さん(昭和四二年法卒)が、二期目の当選を果たしました。民主党への追い風が吹き荒れる中、大苦戦を強いられました。二九、一三七票を獲得して、何とか滑り込むことができました。この逆風を乗り越えて、更なる活躍を期待

したいと思います。(大野記)

■訃報

▼田中喜八(昭和一七年法卒) 平成二一年一月逝去

元赤塚ブロッコ

▼森 弘(昭和二九年法卒) 平成二一年三月逝去

元赤塚ブロッコ

▼原田幸雄(昭和三一年経卒) 平成二一年六月逝去

元赤塚ブロッコ

*謹んでご冥福をお祈りいたします。

■新入会員紹介

▽大島香織(おおしまかおり) 平成一〇年経済学部卒

和光市下新倉二ノ一六ノ一

ベルポート和光式番館一〇一

Eイアイジー・スター生命勤務

趣味/読書、映画鑑賞

■会費納入のお願い

今年度の支部会費が未納の方は、同封の振込用紙で納入くださるようお願いいたします。

(会計幹事)

母校のニュース

■附属中学校が来年四月開校

少子化による私学経営の危機が声高に叫ばれている昨今、中央大学では、中・高・大学一貫教育の強化による、生徒・学生の確保をめざしています。そして、いよいよ来年四月には附属中学校が開校するのです。

小金井市にある附属高等学校の隣接地では、中学校校舎の建設工事が予定通り進行しています。認可申請事務も順調に運んでいて、今年五月から始まった学校説明会には、三千人もの参加者が集まって、関心は高まる一方です。

■野球部、秋のリーグ戦展望

春のリーグ戦では、期待されていたが、硬式野球部は四位に終わってしまいました。優勝した東洋大からは、勝ち点を挙げたものの、亜大、青学大に接線の末に敗れたのが、上位入賞を果たせなかった理由です。

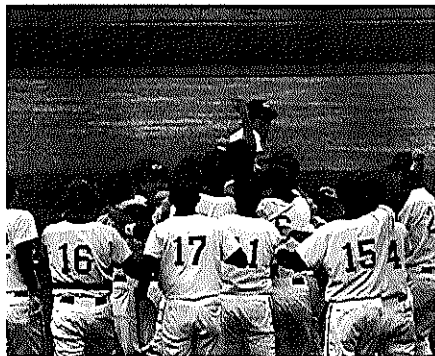
この秋の希望は、全日本にも選ばれた沢村投手（佐野日大高出

身・三年）の存在です。彼を中心に、近年にない強力な選手陣が揃い、絶好のチャンス到来と期待されています。

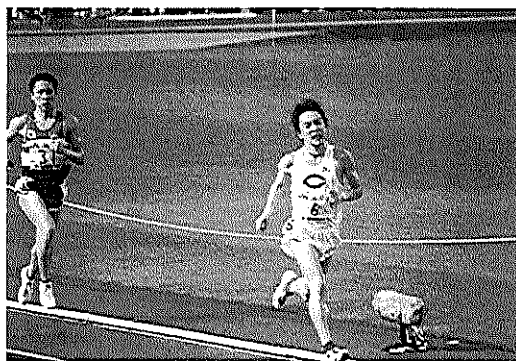
■準硬式野球部は東都制覇

東都大学準硬式野球春季リーグ戦で、中大は一〇年ぶりの優勝を果たしました。連覇を狙った関東大会では、惜しくも準優勝に終わりましたが、日大、専大を抑えて、リーグ戦では、栄光を手にしたのです。

昨年から快進撃をつづけている準硬式野球部は、その主力選手が数多く残っていて、今シーズンのこれからの試合でも、いっそうの好成績を収めてくれそうです。



▲優勝の喜びに沸く準硬式野球部



▲ギリギリで予選を通過して11月の本大会へ

■全国大学駅伝予選会は五位

三大駅伝の一つ、全日本大学駅伝は一月に開催されます。その関東地区予選会が、六月二一日、国立競技場で行なわれました。昨年シード権を獲得した六つの大学を除く二〇大学が参加、代表八人による合計時間を競った結果、一位明大、二位東海大、三位農大、四位専大につづく五位で、予選を通過しました。予選通過は六位までで、以下、青学大、城西大とは秒差の勝負と、薄氷の予選通過となりました。本選での巻き返しを期待したいところです。

(栗原記)

■番外・大相撲観戦記

玉春日関に熱い声援！

五月三〇日（土）、昨年九月場所で引退し、年寄楯山を襲名した玉春日関の披露大相撲が、両国国技館で開催されました。土俵脇には、チア



ガールと一緒の中大応援部も駆けつけ、断髪式を盛り上げました。

久野修慈理事長を始め、後援者三二二名が欠を入れ、最後に片男波親方が止め欠を入れて鬚を落としました。

日々努力、日々精進、日々感謝をモットーに、一五年間の土俵生活をまっとうした玉春日関、長いこと、ご苦労様でした。

(池田記)

定時総会決議事項の報告

第二一回・支部定時総会が、去る六月二〇日(土)午後六時から、区立板橋文化会館の大会議室を会場に、会員六一名が参加して開催されました。全議案の決議事項を次の通り、ご報告申し上げます。

第一号議案

平成二〇年度・事業報告

大野事務局長から次の通り報告され、異議なく承認されました。

・四月二日(水)

ゴルフ同好会 16名

・四月五日(土) 支部観桜会

志村ブロック担当

於/見次公園 36名

・四月八日(火)

パソコン教室 延56名

於/ハイライププラザ

・四月一四日(月)

20周年事業打合せ 5名

於/巢鴨ルノアール

・四月二六日(土)

囲碁同好会月例会 20名

於/西池会館毎月第四土曜

・五月九日(金)

カラオケ同好会 20名

於/レストラン・サンイチ

・五月三〇日(金)

幹事会 35名

於/グリーンホール

・六月六日(金)

20周年事業打合せ 6名



▲20周年記念式典で挨拶する石塚支部長

於/巢鴨ルノアール

・六月一九日(木)

20周年事業打合せ 7名

於/大山・高社郷

・六月二八日(土)

総会及び20周年記念事業

於/区立文化会館大会議室

会員69名 来賓ほか37名

・七月一七日(木)

20周年記念事業

記念品発送業務 9名

・八月五日(火)

「板橋区支部10年の軌跡」

座談会

文化シャッター研修所8名

・八月二二日(金)

常任幹事会 29名

於/レストラン・サンイチ

・九月二六日(金)

会報校正作業 6名

於/巢鴨ルノアール

・一〇月一五日(水)

会報発送作業 9名

於/常盤台町会事務所

・一〇月二三日(木)

ゴルフ同好会 18名

於/ノーザン錦ヶ原

・一〇月二六日(日)

ホームカミングデー18名

於/多摩キャンパス

・二月四日(金)

ホームページ&パソコン

委員打合せ会 25名

於/大山「割烹丸亀」

・二月一三日(木)

都区内支部連絡会 3名

於/駿河台記念館

・二月二二日~二三日(日)

親睦バス旅行会 24名

於/川治温泉

・二月六日(土)

支部忘年会

常盤台ブロック担当37名

於/「鳥忠総本店」

▽平成二一年

・一月二一日(金)

会報編集会議 6名

於/巢鴨ルノアール

・一月二四日(土)

支部新年会 58名

於/区立文化会館会議室

・三月一六日(月)

会報発送作業 10名

於/常盤台町会事務所

・三月二三日(月)

常任幹事会 27名

於/レストラン・サンイチ

第二号議案

平成二〇年度・収支決算報告

三宅副支部長から、左表の通り報告の後、栗原監事から会計監査もって承認可決されました。

第三号議案

平成二一年度・事業計画(案)

大野事務局長から下記の通り説明があり、満場異議なく拍手をもって承認可決されました。

一、定時総会及び懇親会の開催
六月二〇日(土)

会場/区立文化会館大会議室
二、親睦会の開催
観桜会 四月四日(土) 38名
*上練馬公園・実施済み
(赤塚ブロック担当)

旅行会/秋に実施予定
忘年会/一二月に開催予定
新年会/来年一月に開催予定

三、他支部との交流
*都区内支部連絡会など

四、同好会活動の促進
*囲碁同好会 毎月第四土
*ゴルフ同好会 4・10月
*カラオケ同好会 5・10月
*パソコン同好会 4月

五、広報活動
*パソコン同好会の方々に版下制作を依頼
*二五周年記念事業の募金へ充選任が、承認可決されました。

六、会員増強活動
*区民祭に支部として参加
*支部職を立てる
*会員応募用紙を準備
*会報を応募者へ配布

七、「ホームカミングデー」への参加協力
*「ホームカミングデー」への参加

八、会員名簿の作成
*パソコン同好会の方々に版下制作を依頼

九、役員一部改選の件
*佐藤道則副支部長、徳永勝彦事務局長お二人の、会計幹事に補選任が、承認可決されました。

十、*学員時報への寄稿
*投稿ページ新規開設
*ホームページの更新
*年二回(3月・9月)

十一、*学報『白門板橋』の発行
*年二回(3月・9月)

十二、*学報『白門板橋』の発行
*年二回(3月・9月)

平成20年度 収支決算報告書
(自平成20年4月1日～至平成21年3月31日)

(単位:円)

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
年会費	600,000	429,000	総会費	560,000	531,000
総会費	560,000	623,000	旅行会費	925,000	830,000
旅行会費	885,000	830,000	観桜会費	180,000	205,000
新年会会費	420,000	406,000	新年会費	420,000	310,560
常任幹事会費	150,000	162,000	忘年会費	240,000	237,000
幹事会費	100,000	70,000	役員会費	160,000	21,757
観桜会費	180,000	205,000	常任幹事会費	150,000	162,000
忘年会会費	240,000	237,000	幹事会費	100,000	78,000
受取利息	10,000	8,346	会報作成費	250,000	393,810
役員会費	160,000		印刷費	50,000	86,142
雑収入		9,000	通信費	150,000	146,700
20周年記念渡金		753,286	事務所費	60,000	0
前年度繰越金	2,177,362	2,177,362	事務用品費	10,000	474
計	5,482,362	5,909,994	慶弔交際費	150,000	99,000
			同好会補助費	40,000	40,000
			施設利用費		80,700
			手数料	12,000	25,340
			会員増強費	100,000	0
			ネット導入費	100,000	25,000
			雑費	30,000	77,093
			20周年繰出金	500,000	500,000
			予備費	1,295,000	0
			次年度繰越金		2,060,418
			計	5,482,362	5,909,994

(注) 紙面の都合で(増減額)及び備考は割愛しました

平成20年度 貸借対照表
(平成21年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部			負債 正味財産の部		
科目	内訳	金額	科目	内訳	金額
現金		0	次期繰越金		2,060,418
普通預金	築西信金・板橋	22,198			
普通預金	三菱東京UFJ	529,855			
郵便振替口座	3-568929	83,760			
郵便貯金		1,152,605			
郵便定期貯金		72,000			
投資有価証券	大学債渡高	200,000			
計		2,060,418			2,060,418

以上の通り決算報告いたします。
平成21年4月30日

支部長 石塚 輝雄 (印)
会計(代理) 池田 直利 (印)
会計(代理) 三宅 正代 (印)

以上 支部決算につき、監査の結果、適正かつ適法に承認していると認めた。

監事 中野 謙雄 (印)
監事 岡上 裕子 (印)
監事 栗原 三郎 (印)

平成21年度 予算案

(自平成21年4月1日～至平成22年3月31日)

(単位:円)

科目	予算額	科目	予算額
年会費	600,000	総会費	560,000
総会費	560,000	旅行会費	940,000
旅行会費	900,000	観桜会費	200,000
観桜会費	200,000	新年会費	420,000
新年会会費	420,000	忘年会費	240,000
忘年会会費	240,000	常任幹事会費	162,000
常任幹事会費	162,000	幹事会費	100,000
幹事会費	100,000	会報作成費	250,000
受取利息	10,000	印刷費	80,000
前年度繰越金	2,060,418	通信費	150,000
計	5,252,418	事務所費	60,000
		事務用品費	10,000
		慶弔交際費	150,000
		同好会補助費	40,000
		手数料	25,000
		会員増強費	100,000
		ネット費用	50,000
		施設利用費	80,000
		寄付	100,000
		雑費	80,000
		予備費	1,455,418
		計	5,252,418

告知板

■秋の支部旅行

支部恒例の秋の旅行会が、静岡県浜松市の館山寺温泉に決定しました。

貸切バスでグリーンホール(旧板橋産文ホール)横を出発、奥浜名湖で昼食、東海を代表する曹洞宗の古刹・館山寺などを見学してから「館山寺レイクホテル花乃井」泊。名湯で体を癒し、酒と肴とカラオケで日頃のストレスを発散して就寝。翌日は、三方原古戦場、徳川家康の「出世城」として名高

い浜松城などに寄り、浜松地ビール工房で昼食を済ませてから、帰路につきます。

奮ってご参加ください。

記

日時／十一月二三日(金)～

一四日(土)

午前八時集合

旅行費／約三〇、〇〇〇円

宿泊先／館山寺温泉

レイクホテル花乃井

申込先／近藤、三宅、川崎、鈴木(裕)

期 限／一〇月一三日(金)

*詳細は、同封の要項

をご参照ください。

■新年会の日程と会場
来年の新年会の日程などが、左記の通り決定しましたので、お知らせします。

記

日時／一月二三日(土)～

午後六時から

会場／区立文化会館大会議室

会 費／七、〇〇〇円

*追ってご案内します。

■ホームカミングデー

一〇月二五日(日)に決まる

*

第二〇回中央大学ホームカミングデーは、一〇時からの開会式

(多摩キャンパス9号館クレセントホール)に引きつづいて、講演

会、無料生活相談コーナー、演奏

会、模擬店、福引抽選会などの企画が用意されています。

今年が目玉は、スポーツトーク

ショー。高橋善正硬式野球部監督、

浦田春生駅伝監督の中大運動部二

枚看板が、現役選手たちを交えて

「中大スポーツの未来を語る」栄

光へ向けて」を熱く語ります。

板橋区支部では、今年も専用バ

スを仕立てて、皆様の参加をお待



▲昨年のホームカミングデー開会式

ちしています。高島平駅前、常盤台駅・三井住友銀行前、板橋区役所前を経由していきますので、ご希望の方は、同封の「案内」をご参照の上、お申し込みください。

■会員勧誘のお願い

支部事業計画のひとつに「会員増強運動」があります。

縁あつて中央大学に学んだ学友の「板橋白門会」への入会を誘ってください。

各種の行事や趣味を通じて、交友の輪を広げるのを働きかけてくださるよう、お願いいたします。

(事務局)



川治温泉と秋家太々神楽を訪ねて
板橋白門会 2008-11-22-23

■忘年会の日程と会場

忘年会の日程などが、左記の通り決定しましたので、お知らせします。(高島平ブロック担当)

記

日時／十二月二日(土)

午後六時から

会場／西台駅前「王華」

会 費／六、〇〇〇円

*詳細は、同封の要項

をご参照ください。

(東上線方面に送迎バス用意)

ブロック紹介④

「志村・坂下ブロック」その1

■訪れてみたい坂下界隈の名所

「志村・坂下ブロック」としての再出発を果たして、ブロック長の
大森守さんは、「当ブロックの会員は、これまでも支部活動に積極的に参加している。さらにこの合併による相乗効果を期待し、若いメンバーの参加も促して、活動をより盛り上げていきたい」と、力強く抱負を語っています。

今回は大森ブロック長への取材を中心に、旧「坂下ブロック」地域を紹介してみます。



▲桜が見事な「浮間公園」

シリーズ第四弾。観桜会や忘年会などで支部活動の中心を担い、昨年に再編成された各ブロックを、順次紹介していきます。

施設・公園では、まずサバイバルに挑戦できる「植村冒険館」(蓮根駅5分)、ナイター設備を備えた「区立城北公園野球場」(蓮根駅5分)、「舟渡水辺公園」(西台駅10分)、そして桜がきれいな「都立浮間公園」(浮間舟渡駅前)などが挙げられます。中でも浮間公園は四季それぞれ楽しめますが、何ととっても桜の開花時期が素晴らしく、毎年、大勢の花見客で賑わっています。隣接して「浮間桜草園場」があります。ここは江戸時代から全国的に知られ、戸田・志村・川口などの荒川流域に自生していた「浮間ヶ原桜草」が、保存会によつて栽培されており、毎年四月半ばから、一般公開されています。

ペット好きの方はご存じかと思いますが、舟渡には動物霊園「東京家畜博愛院」があります。ここには犯罪捜査で活躍した警察犬が一九一頭(平成二十二年三月現在)

埋葬されており、毎年、警視庁は当院で、時には警視總監も参列して、慰霊祭を行なっています。

■蓮根・西台駅付近の食事処

和情緒に溢れた空間で会席料理

を堪能できるのが「よし邑」(蓮根駅2分)。蓮根駅横のガード下にある鮎店「藤」は、旬の美味しいネタが揃っています。また新鮮な魚が評判の割烹「一心」(蓮根駅2分)、手打蕎麦が旨い「そば処・瀧乃家」(西台駅3分)、おでん・小料理の「お多幸」(蓮根駅2分)では新鮮な魚介類も好評です。さらに、選び抜かれた和牛を炭火で味わえる「和牛・炭杏」(蓮根駅3分)も名店の一つです。

食べすぎ、呑みすぎからメタボ一直線の皆さんには、荒川堤でのウォーキングがお勧め。毎年三月開催の「東京・荒川市民マラソン」の会場にもなっている、ランナーのメッカです。また堤の上から、ゴルフアーのプレーを観察し、自分の腕に磨きをかけたい方には、二つのゴルフ練習場「サングリー」と「ジョイジョイ蓮根」(どちらも西台駅5分)が便利です。
(志村・坂下ブロック 前田記)

■TOPICS

南甲俱樂部と新入会員

* * *

●平成二ヶタの卒業生が板橋区支部に入会した。若い女性会員で希少である。

仄聞するところ、南甲俱樂部の会員でもあるというではないか。駿河台学員から見ると「南甲俱樂部」と聞いただけで、一歩退いてしまふ。

●多摩キャンパスを卒業した若い学員は、南甲俱樂部を知らない。南甲の二文字の意味すら分からない者が多いから、俱樂部の三文字を加えたら、なおさら何のことだか分からない。

●昔、母校・中大のあった駿河台界隈は、南甲賀町と表示され、江戸城に近い駿河台一帯には、甲賀の国から、江戸城に出仕する側用人等が多く住んでいた。

●それがどうしたかつて？
財界で活躍する中大OBで組織する学員会支部なんです。

(H記)

同好会ニュース

■ゴルフ同好会

四月三日(金)、埼玉県川越市の川越グリーンクロスで開催された白門板橋ゴルフコンペの結果は、左記の通りでした。

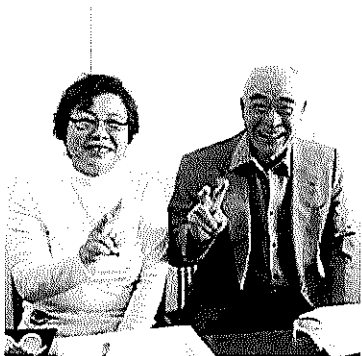
優勝 片桐久雄

準優勝 片桐雅子

三位 藤井 滋

また、吉岡聯太郎さんが本大会初のホールインワンを、中コース7番(二一ニヤード)で達成しました。おめでとうございます。

なお、秋の大会は、一〇月五日(月)、埼玉県滑川町の高根カントリー倶楽部で開催されます。幹事は、片桐さんと前田さんです。



▲喜色満面の片桐さんご夫妻



▲第21回を迎えた春のカラオケ大会

■カラオケ同好会

会場をグリーンホール地下一階のレストラン・サンイチに移して四年余、参加者の増加に、会長の佐藤義さんは、これ以上ふえたらどうしようと、嬉しい悲鳴を上げています。会費のわりには料理も飲み物も潤沢なうえ、貸切の個室で、落ち着いてカラオケを楽しめるからでしょうか。

この秋も、一〇月九日(金)に第二回例会が予定されています。名誉会長の古澤道夫さんは毎回、遠路はるばる茨城県下館市からレストラン・サンイチまで足を延ば

してくれる、熱の入れようです。

■パソコン同好会

毎月二回を目標に、ハイライフプラザいたばし一階会議室で、初心者講習会を開いています。

一〇月は六日(火)と一五日(木)、十一月は一〇日(火)と一七日(火)に、エクセルの基本と活用をテーマに、講習を予定しています。関心がおありの方は、世話人の吉岡さん(☎三九三六・八三一五)までご連絡ください。

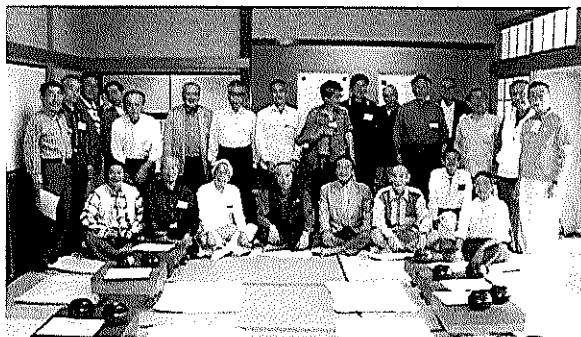
*

また姉妹組織のホームページ研究会が立ち上げた「板橋白門会ホームページ」では、支部会員の投稿ページを新規開設しました。皆様のご利用をお待ちしています。

■囲碁同好会

毎月第四土曜日に、二〇名ほどの会員が参加して、定例月例会を開催しています。「西池袋囲碁サロン」(☎三九八五・三二八〇)に一時に集合して五く六対局し、持ち

点制で優勝・準優勝者を決定しています。当日会費は三〇〇円、サロン入場料七〇〇円です。



▲第11回「練馬・板橋親善囲碁大会」に集った面々

五月二五日には、第一回「練馬・板橋親善囲碁大会」が開催され、一勝二敗と、昨年に引き続いての大敗となりました。ただし、通算は板橋の六勝四敗一分けとなっております。

また毎年、一泊の囲碁合宿を実施しています。今年も、七月二七く二八日に秩父・越後屋旅館で行ない、一一名が参加しました。

新入会員を募集中です。定例月例会の当日「西池袋囲碁サロン」にお越しただくか、事務局の布施さん(☎三九六七・一六九三)までご連絡ください。

■白門作家シリーズ

「蓮池薫文学」拾い読み



『半島へ、ふたたび』

著者／蓮池 薫

発行所／株式会社新潮社

■著者プロフィール

一九五七年、新潟県生まれ、新潟産業大学専任講師。大学三年在学中に拉致され、二四年間を北朝鮮で余儀なく生活する。

帰国後、中央大学に復学。

二〇〇五年、初の翻訳書『孤将』を刊行。

二〇〇八年三月、中央大学法学部卒業。

他の訳書に『ハル哲学する犬』

『私たちの幸せな時間』等多数。

著書に『蓮池流韓国語入門』『私が見た「韓国歴史ドラマ」の舞台と今』がある。

*

本書『半島へ、ふたたび』は、取材を兼ねた韓国旅行記でもある

ので、「蓮池文学」と位置づけてよいものかどうか？ 迷いに迷った末、本人が「あとがき」で懇願していた言葉に胸を打たれて、本書を採り上げた。

■筆致

本人が懇願していた「あとがき」の中に筆致を探ってみると……。（中略）拉致されしばらくして、僕は日本に帰ることを諦めた。夢にも故郷に帰れるなどとは思わなかった。というより思わないようになっていた。何の可能性も見えないなか、実現し得ない帰国のことばかりを考えていたら、とても生きていけないと思ったからだ。



空想の世界でも、日本に帰った自分の姿より、これから自分と子供たちが厳しい北朝鮮社会をいかに生きていくか、その青写真ばかり描いていた。決して樂觀的な空想ではなかったし明るい未来でもなかった。しかし、どんな社会であれ、どんな状況であれ、命のある限りは生きていかなければならない。それが天から与えられた運命だと考えていた。（以下略）

**

感情に走ることなく、冷静な筆致である。二四年という永くて尊い青春時代を、まったく自由のない北朝鮮で暮らした体験と、同じ朝鮮半島でも初めて見聞した韓国との違いを、注意深く見て歩いた八日間の旅行記である。

本書は「第一部・僕がいた大地へ」「第二部・あの国の言葉を武器に生きていく」の二部構成になっている。

ことや恨みごとをいっさい書いていない。遠慮があったのか、帰国後も目に見えない監視の眼があるのか、物足りない紀行文ではあるが、第二部では、翻訳を通じて知り合った北朝鮮の人気作家・孔枝泳氏との対談等、心温まる交流が語られて、蓮池氏の優しい人柄を感じることができ。

また翻訳の仕事は奥深く難しいが、タイトル通り「あの国の言葉」を武器に、逞しく生きていることが窺える。

ちなみに、蓮池氏の翻訳した孔氏の『私たちの幸せな時間』は、現地で一〇〇万部を売り上げている。

作品を離れて思うことは、二四年という空白期間は氏にとって、まさに浦島太郎であろうが、そのプランクを見事なまでに埋めている姿を見た。

第一部では、先進国並みに自由で活気に満ちた韓国の人々を羨んだりすることを書いていない。そして、手足をものがれ言論を封じられた北朝鮮の不自由な国家機構や統制社会についても、批判めいた

本書は、刊行されてまだ日が浅いが、八月五日には第六刷を出して、書店の話題をさらっている。氏が拉致された話題の人であるのとは別に、立派な文学者でもあるからだと思った。（平山記）

■「若木小」に由来する町名

若木という地名は、昭和三八年一月一日の町名変更により誕生しました。旧町名は志村中台町です。若木の町名は、若木小学校に由来します。

若木小学校は、昭和三三年六月

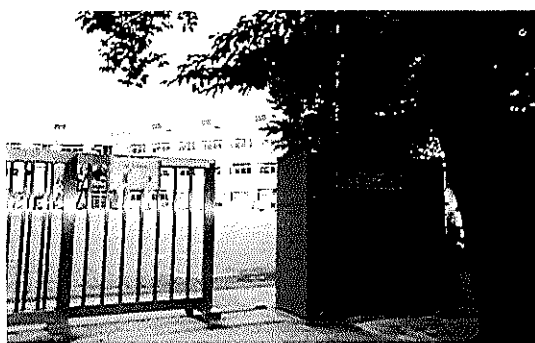
地名の由来…②④

「若木」の巻

一日、中台小学校から分かれて、現在の場所に開校しました。若木と名づけられたのは、子供たちがすくすくと成長することを願い、地元の人たちが相談して決めたようです。若木小学校はその後、児童数一、三九八人の区内でいちば

んな大きな小学校になりました。そして昭和四六年五月には、若木小学校から分かれて、若葉小学校が開校したのですが、近年の少子化の影響もあって、平成一七年にはもとの若木小学校に統合されました。

昨年の一月に創立五〇周年を



▲創立50周年を迎えた若木小学校

迎えた若木小学校には現在、一五クラス五〇三名の児童が在籍しており、校内では「けん玉」が盛んに行なわれています。これは若葉小学校から引き継がれたもので、「けん玉ダンス」という、数人で一緒にする遊びもあり、協会に登録して、段級の検定も行なわれて

いるそうです。

また若木小学校では、近隣の小学校、中学校の生徒や地域の人々が参加する「さくら草まつり」が催されていて、毎年三月の楽しいイベントになっています。開校記念として植樹されたイヌツゲの木は、現在もプールのそばで、子供たちの歓声を聞いています。

■「若木三丁目貝塚公園」

五く六〇〇年前には、若木地区付近まで東京湾が迫っており、若木三丁目あたりからは、多くの遺跡が発見されています。中台馬場崎貝塚は、昭和一〇年頃すでに発見されていましたが、昭和四二年に本格的発掘調査が行なわれました。貝塚のあったところの一部は、今では「若木三丁目貝塚公園」となっています。

若木は坂が急で、道幅の狭いところの多い地区です。以前、私の友人数人と、災害時のシミュレーションをしてみたことがありましたが、当時の避難場所「若葉小学校」には、たどり着けないという結論に達しました。また援助物資も、空からの搬入でないと、無理のようでした。

今回の取材では、若木小学校の土性副校長に、大変お世話になりました。有難うございました。
(中三川孝幸記)

編集後記

●この七月、八月は、暑い暑い選挙の夏でもありました。とりわけ、菅東一さんにとっては、ご自身の都議選、選対本部長としての衆院選とつづいての大奮闘で、体重が七キロ減ったそうです。(メタボ解消の特効薬になったとの陰の声あり)

●慶応三年、昭和二〇年につづく大変革の年になるのか？八月三日の総選挙の結果が注目されます。この日、テレビの前での徹夜組も多いことでしょう。(日本の明日を考える夜?)

●「白門作家シリーズ」で採り上げた蓮池薫さんの『半島へ、ふたたび』が、新潮ドキュメント賞を受賞しました。「評価されてうれしい。帰国して幸せだからこそ、早く次の人の帰国に結びつきたい」と、喜びを語っています。(八月二十八日、金子記)